

らくだ図書館

常木らくだの小説投稿ブログ



● 常木らくだ ●

こんにちは、らくだです。

ピースログ通過の祝福コメント、たくさんありがとうございます。
最近ずっと落選続きだったので、なんだか非常に新鮮な気分です。

さてさて。

7月1日からつばさ文庫のカクヨム応募がスタートしました。

それを記念するインタビューが、カクヨム公式ブログに掲載中。

これからつばさ文庫へ投稿予定の皆様はもちろんですが、編集長による生の声が聞けるので、児童レベルに興味のある方々にとっても必見の内容です。

[【「求められるのはエンターテインメント」——角川つばさ文庫編集長に聞く、児童向け作品の世界】](#)

<気になったポイント>

- ・対象読者は主に小学生から中学生
- ・中でも一番多い読者は小学校高学年の女子
- ・投稿作を見ると正直なところカテエラな作品も多い
- ・「小学生向け＝簡単なほのぼのした話を書けばいい」は間違い
- ・小学生にもわかる易しい言葉と短いページ数で、読者があきないような、おもしろい話を書かなければならない
- ・お金を出す保護者が安心できる作品であることも重要

自分が気になったポイントは以上ですが、他にも「今後強化したい分野」などが載っているので、児童向けの投稿者さんは要チェックです。

以上、カクヨム応募開始記念「つばさ文庫編集長インタビュー」の紹介でした。

第 8 回アイリス恋愛ファンタジー大賞- 2017.07.02 Sun

こんにちは、らくだです。

なろう×一迅社のコンテスト「第 8 回アイリス恋愛ファンタジー大賞」が今年も開催される模様です。

詳細は下記リンク先をご覧ください。

【応募要項】

http://www.ichijinsha.co.jp/special/iris/renaif_award8/

- ・ 最終締切 2017 年 9 月 19 日（火）
- ・ 募集内容 女性向けの恋愛ファンタジー小説
- ・ 規定字数 自由（完結でも未完結でもオッケー）
- ・ 応募方法 なろうに投稿し「アイリス恋愛F大賞8」とキーワード入力（「F」と「8」は全角入力なので注意！）

しかしこのコンテストも、もう第 8 回になるんですね。

最近始まった賞のように思えますが、月日が流れるのは本当に早いものです。

なお Q&A を見ると、前回以前の作品を再応募しても問題ないらしいので、過去作をブラッシュアップして再チャレンジすることもできる様子。

というわけで。

恋愛ファンタジーを書かれる皆様は、参加してみたいかがでしょうか。

なお第 8 回の募集が始まったばかりですが、第 9 回の開催も決定しており、9 月 20 日から募集を開始するようです。

以上、第 8 回アイリス恋愛ファンタジー大賞の紹介でした。

こんにちは、らくだです。

ついに7月になりましたが、パブーのブログ取り込み中に何度やってもエラーが出てしまい（汗）、電子書籍を配信できません。

あまり需要はないと思いますが、楽しみにしてくださっている方がもしあれば、問題解決までお待ちください。

さてさて。

6月30日に講談社ラノベ文庫新人賞の1次発表がありました。

以下リンク。

通過者の皆様はおめでとうございます。

【発表ページ】

<http://lanove.kodansha.co.jp/award/rookie/7/>

- ・応募総数 348本
- ・1次通過 66本
- ・通過率 約19%

さっそく通過リストを見ましたが、長い説明系のタイトルは少なめで、全体的に割とシンプルな印象です。

もちろん作品の内容まではわかりませんが、タイトルを見てもレーベルごとに違いがあるので、そういう部分を比較するのも面白いですね。

というわけで。

もうすぐ出るであろう2次発表も楽しみに待ちたいです。

こんにちは、らくだです。

エラーで作成できなかったパブ版ですが、ようやく不具合が解決して、今月も無事に配信することができました。

66 という縁起の悪い数字ですが、内容は別に呪われてませんので、どうぞよろしくをお願いします。

【らくだ図書館 (66)】

<http://p.booklog.jp/book/115780>

さて本題。

第 4 回オーバーラップ文庫大賞（第 4 ターン）の最終結果が発表されました。

自分は 1 次であっさり落選しましたが、受賞された方はおめでとうございます。

【発表ページ】

<https://over-lap.co.jp/bunko/award/2016/announcement.aspx>

- ・ 応募総数 189 本
- ・ 1 次通過 28 本（約 15 %）
- ・ 2 次通過 7 本（約 4 %）
- ・ 佳作 1 本（約 0.5 %）

ちなみにオーバーラップ文庫大賞は、今年からターン数が減ったので、次の締切は 8 月 31 日となっています。

投稿予定の皆様はチェックしていると思いますが、開催期間が去年までとは違うので、出し間違えのないように改めて注意しましょう。

こんにちは、らくだです。

先月ティザーサイトが先行公開された、小説家になろうの公式企画「夏のホラー 2017」について、本サイトが正式にオープンしました。

【夏のホラー 2017】

<http://horror2017.hinaproject.com/>

この企画に作者として参加するには、3ステップのアクションが必要で、どれか抜けていると参加できません。

1. 参加表明する
2. 作品をなろうに掲載する
3. 掲載した作品をエントリー（提出）する

それぞれ受付期間（締切）が違うので、詳しい流れは下記をご覧ください。

【夏のホラー 2017・参加方法】

<http://horror2017.hinaproject.com/site/rule/>

よくある質問のページも追加されています。

ホラーの定義なども載っているので、参加を迷っている皆様は要チェック。

【夏のホラー 2017・よくある質問】

<http://horror2017.hinaproject.com/site/help/>

今年はカクヨムでもホラーコンテストが開催されますが、なろうとカクヨムでは方向性が違うので、それぞれどんな作品が集まるかも楽しみのひとつですね。

（カクヨムは実体験に基づく話、なろうは不気味な遊園地の設定）

以上、なろう公式企画「夏のホラー 2017」の続報でした。

こんにちは、らくだです。

九州地方は記録的な豪雨ですが、皆様の地域は大丈夫でしょうか。

創作活動も平和な日常あってこそ。

該当地域の投稿者さんは充分にお気を付けください。

さて、今回の話題はノベル大賞の4次発表について。

以下リンク。

いよいよ9本まで絞られました、通過者様はおめでとうございます。

【発表ページ】

<http://orangebunko.shueisha.co.jp/novel-award/result>

- ・1次通過 274本
- ・2次通過 125本
- ・3次通過 37本
- ・4次通過 9本

現段階では応募数がわからないので、通過率（意外と好評！）の計算はできませんが、情報が判明したらま
とめて載せたいと思います。

ちなみに今年の通過リスト、ページ上部に「1次通過作品に漏れがありました」と書いてあるので、サイトを
見るたびにドキッとして心臓に多大な負担が（汗）

ええそうよ……。

そんな自分は1次落ちよ……。

というわけで、最終発表でも無駄にドキッとしそうですが、いよいよ今年を受賞作が決定するので、更新予
定の8月1日（火）を楽しみに待ちたいです。

金曜フラゲ？

早売り規制が厳しくなったから無理でしょ？

なんて思ってたら公式発表キタ——(°▽°)——!!!

【発表ページ】

http://dengekitaisho.jp/announce_24_01.html

- ・応募総数 5,088 本
- ・1次通過 575 本（長編 471 本、短編 104 本）
- ・通過率 11.3 %

というわけで。

本日昼ごろ電撃の1次発表がありました。

ちなみに常木らくだ、今回は送っていません。

本当だからねっ！

落ちたから隠してるわけじゃないわよっ！

とにかく通過された皆様はおめでとうございます。

2次3次とこのまま通過して、受賞することを願っています。

残念ながら今回落ちてしまった皆様も、投稿生活これで終わりではありません。

ゴールを決めるのは自分自身。

自分自身があきらめない限り、道はどんどん続いていきます。

上に書いた通り今回自分は電撃不参加（本当よ？）でしたが、らくだ図書館が皆様の投稿のお供になるように、これからも愛されるブログを目指して頑張りたいと思います。

こんにちは、らくだです。

ふと思ったんですが、

- ・クリスマスイブに1次発表する SD
- ・バレンタインに1次発表する GA
- ・七夕に1次発表する電撃<NEW!>

どうして各レーベルは恋人同士がイチャイチャする日に1次発表をぶつけてくるんですかねえ……（遠い目）

とまあそれはさておき。

文学フリマ短編小説賞の1次発表がありました。

今回公式サイトは更新されておらず、なろうブログでの発表となっています。

【発表ページ】

<http://blog.syosetu.com/?itemid=2816>

- ・参加作品数 774 本
- ・1次通過 16 本
- ・通過率 約 2 %

通過者の皆様はおめでとうございます！

しかし今回のコンテスト、直接デビューに繋がる企画ではないのに、1次通過率 2 % という公募顔負けの大激戦だった模様。

公式からの情報はまだありませんが、この勢いだと第3回も実施されそうな予感がするので、今後の展開が楽しみになりました。

こんにちは、らくだです。

電撃の1次発表などで話題にするのが遅れましたが、7月7日に、第63回コバルトイラスト大賞の発表がありました。

以下リンク。

掲載された皆様はおめでとうございます。

【発表ページ】

http://cobalt.shueisha.co.jp/contents/illust_prize_63/

今回の講評は勉強になりました。

上記リンクからそのままコピーします。

イラストの絵柄には流行があり、コバルト・イラスト大賞に寄せられる作品も、流行の移り変わりで絵柄の傾向が移り変わります。いい作品を描くために、流行に敏感であることは大切ですが、流行に振り回されすぎると、自分の絵になりませんし、ここで佳作以上に入っている方は、その人ならではの個性が評価されています。描く技術を上げることはもちろんですが、自分の絵のどこが魅力になるか、意識して描くことをおすすめします。

これは小説にも言えるんじゃないかなーと。

最近の流行はチェックしつつ、自分の個性もしっかり出していくという、そのバランスが大切ですよ。

まあ言うは易しで実践は難しいですが、創作者を目指す人間として、心の片隅に留めておこうと思いました。

集英社ラノベの1次結果 - 2017.07.10 Mon

こんにちは、らくだです。

近ごろ驚異的に暑いですね。

まだ梅雨明け前だというのに、近所ではセミが鳴いています。

さてさて。

7月5日に第7回集英社ライトノベル新人賞（前期）の1次発表がありました。

紹介するのが遅れてしまいましたが、いつも通りリンクを貼っておきます。

【発表ページ】

<http://dash.shueisha.co.jp/award/dx7thAwardEarly/result.html>

- ・応募総数 461 本
- ・1次通過 66 本
- ・通過率 約 14 %

通過された皆様はおめでとうございます。

ちなみに集英社ライトノベルの評価シート、今までは希望者全員送付でしたが、リニューアル後は1次通過以上となりました。

今までは全員もらえるのが魅力だったんですけどね……。

まあ1次落ちの評価シートって確かに読むのツライですけど……。

とにかく1次通過者の選評は、2次発表（8月上旬）後にメールで発送されるようなので、該当する皆様は要チェックです。

以上、集英社ライトノベル新人賞の1次発表の話題でした。

第5回ネット小説大賞の結果- 2017.07.11 Tue

こんにちは、らくだです。

第5回ネット小説大賞（旧なろうコン）の結果発表がありました。

今回の応募数は、なんと7,165本！

ネットのコンテストなので単純に比較はできませんが、あの電撃（5,088本）をも上回る応募数で、小説家になろうの勢いが感じられる結果となりました。

【発表ページ】

<http://www.cg-con.com/novel/>

この賞は毎回そうなのですが、今回も講評が充実しています。

具体的には、

- ・ジャンル
- ・発想・アイディア
- ・キャラクター性
- ・構成・読者層など
- ・面白さ

以上の項目についてアドバイスが載っています。

なろうコンに参加した方はもちろん、未参加でも読んで損はない内容です。

あと締め言葉が素敵でした。

「『書き続ければチャンスがある』という言葉は気休めではございますが、同時に事実でもあります」

落選が続くと忘れそうになりますが、この言葉をしっかりと胸に刻み、日々活動していきたいと思います。

こんにちは、らくだです。

毎年7月10日前後はPVが増えるんですが、今年は電撃不参加宣言をしていたせいなのか、まったくそんなことはありませんでした。

ちくしょう……。

常木らくだの時代は終わったのか……。

(そもそもそんな時代ない)

さてさて。

話は変わりますがビーンズの3次発表がありました。

通過者の皆様はおめでとうございます！

【発表ページ】

<http://shoten.kadokawa.co.jp/beans/awards/>

- ・ 応募総数 363 本
- ・ 1次通過 29 本 (約 8%)
- ・ 2次通過 12 本 (約 3%)
- ・ 3次通過 6 本 (約 1.6%)

最終発表は9月初旬ですが、今から更新が楽しみです。

なおビーンズ小説大賞といえば、カクヨム経由での応募が可能になったり、18歳以下のジュニア部門が新設されたり、今年から色々と新しい取り組みがスタートしました。

従来の新人賞と共にそちらの経過についても見守っていきたいと思います。

こんにちは、らくだです。

最近健康のためにウォーキングをしていたのですが、ふくらはぎの血管を痛め、完治するまでしばらく安静になってしまいました。

医者には、

- ・急に頑張りすぎない
- ・他人と比べず自分のペースで

と言われましたが、これは投稿にも当てはまると、個人的に思います。オーバーペースで無理に続けると、心身にダメージを受けますからね。

さてさて。

今回は第5回富士見ラノベ文芸大賞の1次発表について。

以下リンクを載せておきます。

【発表ページ】

https://www.fantasiataisho.com/contest/5th_bungei.php

- ・応募総数 372本
- ・1次通過 21本
- ・通過率 約5.6%

通過率約5%という大激戦だったようですが、お名前のあった皆様はおめでとうございます。

なお2次発表は9月中旬の予定だとか。

少し間が空きますが、更新が楽しみです。

以上、富士見ラノベ文芸の1次発表の話題でした。

こんにちは、らくだです。

カクヨムの公式特集「必読！カクヨムで見つけたおすすめ5作品【第11回】」がアップされました。

【必読！カクヨムで見つけたおすすめ5作品】

<https://kakuyomu.jp/features/1177354054883615746>

この特集で！

なんと投稿エッセイ「らくだ図書館（カクヨム版）」が紹介されました！

事前連絡などは特になかったので、フォロワーさんに教えてもらって気付いたのですが、まさかあのエッセイが公式特集でピックアップされるとは……（汗）

というわけで、知った瞬間はかなり動揺しましたが、今はそれ以上に嬉しい気持ちでいっぱいです。

なおカクヨム版の内容はブログとは違います。

未読の方々がいらっしゃれば、この機会に是非ご覧ください。

【らくだ図書館（カクヨム版）】

<https://kakuyomu.jp/works/1177354054881059472>

約1年前にこのエッセイを書いた時は、「格好悪い部分も隠さず披露しよう」と思っていたのですが、それが逆に良かったのかもしれない。

とにかくこれを励みにして、今後も活動を続けたいです。

最後に一句

「投稿は 何が起るか わからない」

こんにちは、らくだです。

ワックス・洗剤メーカーのリンレイが「リンレイアワード」というコンテストを開催する模様です。

大賞作品はショートフィルム化が検討されとか。

詳細については特設サイトの応募要項をご覧ください。

【応募要項】

<http://bookshorts.jp/rinrei>

- ・ 募集内容 「日本のキレイ」をテーマにした短編小説
- ・ 規定字数 1,000字～10,000字
- ・ 最終締切 2017年10月31日（火）
- ・ 大賞賞金 50万円&ショートフィルム化を検討
- ・ 応募方法 ウェブ応募のみ受付（書式は Microsoft Word）

なお募集テーマである「日本のキレイ」について、リンレイ担当者のインタビューが掲載されています。

求める作品なども書いてあるので、参加される予定の方は要チェック。

【担当者インタビュー】

http://bookshorts.jp/rinrei_interview

掃除で身の回りをキレイにすると、もちろん自分自身もスッキリするし、日本の「おもてなしの心」にも繋がるような気がします。

というわけで。

ご興味を持たれた皆様がいれば、応募要項を確認してみてください。

いたばし絵本の受賞作 - 2017.07.16 Sun

こんにちは、らくだです。

第 23 回いたばし国際絵本翻訳大賞の受賞作、英語部門『こらっ、どろぼう！』が、このたび絵本になって出版された模様です。

詳細は板橋区のお知らせに掲載中。

受賞者様は改めておめでとうございます。

【受賞作品が絵本になりました】

http://www.city.itabashi.tokyo.jp/c_oshirase/057/057280.html

このコンテストは（応募要項上）出版確約ではないですが、これまでの例を見ると、英語部門・イタリア語部門ともに毎年出版されています。

それだけ受賞作のレベルが高いのですね。

ちなみに自分ですが、受賞はおろか、途中通過もできません。

なお第 23 回の授賞式は、板橋区の成増アートギャラリーにて、8 月 5 日（土）10 時より開催されるという情報が。

詳細は下記ページ真ん中あたりに載っています。

【第 25 回ボローニャ・ブックフェア in いたばし】

http://www.city.itabashi.tokyo.jp/c_oshirase/084/084221.html

自分は遠方なので行けませんが、歴代受賞作の展示などもあるので、翻訳クラスタの方がいれば是非チェックしてみてください。

以上、いたばし絵本の受賞作&授賞式の話でした。

こんにちは、らくだです。

6月1日～12日にカクヨムで開催された、「羽多野渉 “グレイトフル” ポエムコンテスト」の結果が、先月のカクヨム放送局で発表されました。

公式サイトにも掲載されるかと思いましたが、カクヨム内には載らないようなので、受賞作品のツイッターリンクをご紹介します。

(コメントは自分の個人的な感想です)

【さわやかグレイトフル】部門】

青春ドラマ風の素敵なポエム。

待ち合わせ風景のように見える写真ですが、逆に待ち合わせではない設定にすることで、爽やかさが何倍もUPしていると思いました。

【ワイルドグレイトフル】部門】

ワイルドで男らしい課題写真。

なのでポエムもその方向と思いきや、口調も内容も何故か「オネエ」で、そのミスマッチが癖になるポエムです。

怒ってる理由がわかるのもイイ！

以上、「羽多野渉 “グレイトフル” ポエムコンテスト」結果の紹介でした。

受賞が目標のコンテストもいいですが、こういう遊び心のある企画も、創作のいい気分転換になりますよね。

というわけで。

今後も新しい企画が登場しそうなので、最新情報を追っていきたいと思います。

こんにちは、らくだです。

カクヨム運営公式の自主企画、その名も「もふもふ、ぺたぺた小説集まれ！」が、7月14日（金）から開催中です。

詳細は公式サイトへ。

なお「もふもふ」は毛皮のある生き物で、「ぺたぺた」は鱗のある生き物だそうです。

【もふもふ、ぺたぺた小説集まれ！】

https://kakuyomu.jp/user_events/1177354054883616643

- ・ 募集内容 「もふもふ」や「ぺたぺた」が登場する作品
- ・ 応募締切 2017年8月14日（月）
- ・ 主催者 カクヨム運営公式

今回の企画はコンテストではなく、あくまで公式が運営する自主企画なので、賞やデビューなどはありません。

とはいえ「もふもふ」はいいですよね！

かくいう自分も、映画館で『シン・ゴジラ』を観た後、もっふもふのゴジラぬいぐるみを買おうになりました。

一方「ぺたぺた」は好みが分かれそうですが、爬虫類マニアの皆様などは、ぺたぺた愛を作品にぶつけるチャンスです。

というわけで。

もふもふ&ぺたぺた好きな皆様は、詳細をチェックしてみてください。

こんにちは、らくだです。

第30回ファンタジア大賞の特別企画「キャッチコピー大賞」の受賞候補作品が発表されました。

通過された皆様はおめでとうございます！

【発表ページ】

https://www.fantasiataisho.com/contest/30th_first.php#thirtycatch

- ・ 応募総数 1,132 本
- ・ 受賞候補作 77 本
- ・ 通過率 6.8 %

なお今回のコンテストは、ファンタジア文庫の既刊作に対して、読者がキャッチコピーを考えて応募する企画でした。

対象となった作品も幅広いですし、選ばれたキャッチコピーも直球からポエム調まで色々あって、読んでいて楽しいものが多いです。

ちなみにキャッチコピーの機能は、カクヨムにも実装されていますよね。

あれ自作は自己責任なのでいいとして、他作品にコメントを入れる時は、毎回かなり緊張しながら書いています。

何しろ載ったあと目立ちますもんね……。

そう思ったら変なことは書けないですし……。

とにかくウェブ小説の勢いが増している現在、魅力的なキャッチコピーを考えるのも重要なスキルなので、こういうコンテストも今後どんどん開催されて欲しいです。

こんにちは、らくだです。

キャッチコピー大賞に続き、ファンタジア大賞の短編部門「ドラゴンマガジン賞」の1次結果も、公式サイトに掲載されました。

以下リンク。

通過された皆様はおめでとうございます。

【発表ページ】

https://www.fantasiataisho.com/contest/30th_first.php#thirtyshort

- ・応募総数 305 本
- ・1次通過 52 本
- ・通過率 約 17 %

通過リストで気になったタイトルは、

『終末バレンタイン ～お前ら、チョコがほしいなら奪い取れ～』

奪い取って意味あんのかよ！

でもちょっと共感しちゃう悔しい！

タイトルを読んだだけで、そんな甘酸っぱい(?) 気分になさせてくれる、内容が気になる作品です。

なお2次発表は8月下旬とのこと。

このコンテスト自体が特別企画なので、詳しい選考過程がわかりませんが、とりあえず2次選考はあるようです。

以上、ドラゴンマガジン賞1次発表の話題でした。

こんにちは、らくだです。

いよいよ梅雨も明けて夏本番。

暑さが身体にこたえる時期ですが、負けずに頑張ってください。

さてさて。

キャッチコピー大賞、ドラゴンマガジン短編賞に引き続き、第30回ファンタジア大賞（後期）の結果も発表されました。

入選された皆様はおめでとうございます！

【発表ページ】

https://www.fantasiataisho.com/contest/30th_first.php

- ・ 応募総数 509 本
- ・ 1次通過 119 本（約 23 %）
- ・ 2次通過 40 本（約 8 %）
- ・ 3次通過 13 本（約 2.5 %）
- ・ 入選 6 本（約 1.2 %）

入選作のあらすじを読みましたが、どれも個性があって面白そうです。

逆に言うと、あらすじ段階で期待が膨らむような作品でないと、入選までたどり着くのは難しいという考え方もできますね……（汗）

なおファンタジアは2期制なので、前期の入選作（5本）と後期の入選作（今回の6本）の中から、最終的な受賞作品が選ばれる模様。

11本からどの作品が受賞するのか、公式発表を楽しみに待ちたいです。

こんにちは、らくだです。

- ・えんための2次発表は7月下旬
- ・サイトの更新はだいたい金曜日が多い
- ・7月21日（金）に2次発表クル——（°▽°）——!?

と期待しましたが、ありませんでした。

ちくしょう……。

無駄にF5アタックしちゃったぜ……。

（※サーバーの負担になるので控えましょう）

それはさておき、カクヨムブログが更新されたので、今回はその話を。

まずはコチラ。

次回のカクヨム放送局の告知です。

[【2017/7/27（木）21:30より「カクヨム放送局 Vol.14」を放送します】](#)

このブログの中ほどに「羽多野渉“グレイトフル”ポエムコンテスト」の結果が載っています。

つい先日ツイッターのリンクを紹介したばかりですが、ブログの方が全体的に見やすいので、まだの方はコチラをチェックするといいかもしれません。

それから21日更新のブログで「BOOK ☆ WALKER インディーズコンテスト」の最終結果も発表されました。

詳しく書くと長くなりそうなので、そちらは次回紹介したいと思います。

こんにちは、らくだです。

2017年3月～5月に開催された「カクヨム×BOOK ☆ WALKER BW インディーズコンテスト」の最終結果が発表されました。

以下リンク。

選出された皆様はおめでとうございます。

【発表ページ】

https://kakuyomu.jp/contests/bw_indies_contest/result

- ・応募総数 784 本
- ・最終選考 30 本（約 4 %）
- ・受賞 5 本（約 0.6 %）

総評に詳しく書いてありますが、応募総数が予想以上に多かったようで、急ぎよ受賞本数を増やしたとか。

切符さんが表紙を描くのは大賞のみですが、大賞以外の 4 作品も電子書籍として販売されるようなので、それぞれ刊行されるのが今から楽しみです。

それにしても。

ネット小説の賞は勢いがありますよね。

最近は従来の公募もウェブ応募できる場合が多いですが、ネット小説のコンテストは基本的にタグ付けで参加が完了するので、その手軽さがやはり最大の魅力なのかなあーと思います。

まあ公募とネット小説の差はあれど、書き手が増えるのは喜ばしいことですし、これからも投稿界全体がどんどん盛り上がって欲しいです！

グリムノーツの新イベント- 2017.07.24 Mon

こんにちは、らくだです。

2016年8月～10月に開催された、グリムノーツ×カクヨム「ゲームシナリオ用小説コンテスト」の受賞シナリオが、ゲーム内に実装されたようです。

詳細はカクヨム公式ブログをご覧ください。

なお該当イベントは本日からさっそく始まっています。

【紹介ページ】

https://kakuyomu.jp/info/entry/grimmsnotes_award_start

- ・ イベント名称 「灰の少女とガラスの騎士」
- ・ 開催予定期間 2017年7月24日(月)～8月21日(月)
- ・ イベント期間限定キャラの新☆5ヒーロー「リヨン」がガチャに登場

ちなみにこのコンテスト、だいぶ前なので忘れていた皆様も多いと思いますが、応募数は249作品でした。

これは2次創作の賞としては非常に多く、募集側の予想以上だったという話が、最終発表ページの総評に書いてあります。

【ゲームシナリオ用小説コンテスト総評】

https://kakuyomu.jp/contests/grimmsnotes_scenario/result

オリジナルの設定や世界観を壊さず、その上で自分の書きたいことを表現するのは難しいですが、だからこそ2次創作の賞はチャレンジし甲斐がありますよね。

というわけで。

グリムノーツはもちろんですが、他作品でも、今後ぜひ開催されて欲しいです。

こんにちは、らくだです。

第 13 回 MF 文庫 J ライトノベル新人賞（3 月締切）の最終結果が公式サイトに掲載されました。

以下リンク。

受賞様はおめでとうございます。

【発表ページ】

<http://www.mediafactory.co.jp/bunkoj/award/result/#fourth>

- ・ 応募総数 475 本
- ・ 1 次通過 128 本（約 27 %）
- ・ 2 次通過 28 本（約 6 %）
- ・ 3 次通過 1 本（約 0.2 %）
- ・ 佳作受賞 1 本（約 0.2 %）

かなり珍しいケースだと思いますが、今回は 3 次通過が 1 作品のみで、その 1 本がそのまま佳作になりました。

受賞作はクロスレビューを見た感じ、ヒロインの可愛さがウリのようです。

【クロスレビュー】

http://www.mediafactory.co.jp/bunkoj/award/result/images/MFJ_crossreview_13-4.jpg

ヒロインが可愛いというのは、ある意味ライトノベルでは当然ですが、その当然の部分をとことん突き詰めた点が評価された感じですね。

以上、第 13 回 MFJ 新人賞（3 月締切）最終結果の話題でした。

こんにちは、らくだです。

ウェブコバルトの新企画「オトメのモノクロイラスト講座」の作品受付が始まりました。

あくまでイラストの募集ですが、絵も描けるハイブリッド投稿者の皆様の為に、紹介アドレスを貼っておきます。

なお自分は絵の才能ゼロです！

まあ文章の才能もゼロなんですけど！

(言われる前に自分で言うっておくスタイル)

【オトメのモノクロイラスト講座】

http://cobalt.shueisha.co.jp/contents/illust_course/

- ・ 募集内容 課題文章の挿絵（モノクロイラスト）
- ・ 参加資格 アマチュアのみ、プロの応募は不可
- ・ 投稿方法 郵送応募のみ、ウェブ応募不可
- ・ 最終締切 2017年8月31日（木）
- ・ 応募者全員に寸評つき

この企画もまさにそうですが、コバルトは、モノクロを重視している印象が。

たとえば文庫本のイラストを描く場合、パッと目立つのはカラーの表紙ですが、実際はモノクロの挿絵の方が多いわけですからね。

というわけで。

応募者全員に寸評つきですし、絵を描くのが好きな方がいらっしゃれば、詳細をチェックしてみてもいいかなと思います。

こんにちは、らくだです。

カクヨムで新しいコンテストが始まりました。
他の投稿サイトでは見ないような、色々な意味で斬新すぎる企画です。

詳細はコチラ。
読書感想文のコンテストなのですが……。

[【読んだことのない本の感想を勝手に書きなさい！カクヨム放送局プレゼンツ・空想読書感想文コンテスト】](#)

<企画概要>

- ・カクヨム放送局で活躍中の、羽多野渉&高橋李依が考えた空想小説「わたる異世界は穴ばかり」の感想を書く、読書感想文のコンテスト
- ・ただしその小説は本文がなく、わずかな設定しか存在しない
- ・どんな小説か勝手に想像して、自由に感想文を書いちゃおう

という企画です。
タイトルは空想感想文ですが、ある意味では、妄想感想文とも言えますね。

なお自分はイタリアに行ったことはありませんが、空想だけでイタリア旅行小説を書いて、野〇時代で1次通過した経験があったりします。
(さすがに2次で落ちましたけど)

ええやんか……。
小説を執筆する上で、空想力は大事やで……。

というわけで、創作に必須の想像力を鍛えたい皆様は、コンテストの詳細を是非チェックしてみてください。

こんにちは、らくだです。

本日昼頃えんため大賞（小説 3 部門）の 2 次発表がありました。

以下、それぞれのリンクです。

【ファミ通文庫部門】

- ・ 応募総数 533 本
- ・ 1 次通過 124 本（約 23 %）
- ・ 2 次通過 12 本（約 2 %）

【ビーズログ文庫部門】

- ・ 応募総数 304 本
- ・ 1 次通過 38 本（約 13 %）
- ・ 2 次通過 9 本（約 3 %）

【ビーズログ文庫アリス部門】

- ・ 応募総数 137 本
- ・ 1 次通過 17 本（約 12 %）
- ・ 2 次通過 7 本（約 5 %）

お名前のあった皆様はおめでとうございます。

ちなみにわたくし、ビーズログ部門で 1 次通過中でしたが、2 次はダメでした。

別にいいもん！

選評ないけど悔しくないもん！

というのは嘘で本当は悔しいですが、いくら嘆いても結果は変わらないですし、気持ちを切り替えてまた頑張ります。

以上、えんため 2 次発表の話題でした。

こんにちは、らくだです。

先日2次発表があったえんため大賞ですが、第20回の新部門として、「自作ゲームの部」が再登場する模様です。

えんためは前も自作ゲームを募集していましたが、それとは応募要項が変わっているので、詳しい情報などは公式サイトをご確認ください。

【応募要項】

<http://www.enterbrain.co.jp/entertainment/originalgame.html>

- ・ 募集内容 “ストーリー” と “キャラクター” が楽しめる自作ゲーム
- ・ ジャンル 不問（ゲームの長さも自由）
- ・ 受賞特典 賞金&小説化・コミック化
- ・ 最終締切 2017年9月30日（土）

<応募の流れ>

- 1.RPG ツクール MV でゲームを制作
- 2.niconico に会員登録
3. タグに【えんためツクールコン】 とつけてゲームを「RPG アツマール」に投稿

選考委員からのメッセージに詳しく書いてありますが、今回の企画は「小説化&コミック化」が前提なので、キャラクターやストーリー重視で選考するみたいですね。

【選考委員からのメッセージ】

http://www.enterbrain.co.jp/entertainment/originalgame_message.html

というわけで。

ゲームクリエイターの皆様は挑戦してみてはいかがでしょうか。

こんにちは、らくだです。

4月～5月にカクヨムで開催された、『この仕事がおもしろい！「働くヒト」小説コンテスト』について、中間選考の結果が発表されました。

読者ランキング上位だった10作品と、編集部がピックアップした20作品、合計30作品が最終選考へ進む模様。

通過された皆様はおめでとうございます！

【発表ページ】

https://kakuyomu.jp/contests/kadokawa_bunko_contest/nominated

- ・ 応募総数 210本
- ・ 中間通過 30本
- ・ 通過率 約14%

通過リストをザッと見てきましたが、編集者からお医者さんまで、色々な「お仕事」が集まっています。

なお最終発表は10月予定とか。

どの作品が受賞するのか楽しみです。

ちなみに個人的に気になったのは、題名にハングルを使っている作品。

応募要項には日本語の作品限定と書いてありますが、通過してるということは、ピンポイントで使う分には平気という意味ですね。

まあキャラが外国語でしゃべる小説とか普通にありますが、作品上必要なら問題ないと思いますが、今回の通過リストで証明(?)されたので安心しました。

こんにちは、らくだです。

現在開催中のカクヨム甲子園ですが、規定違反が多いのか、公式ブログに注意喚起が載っています。

作品そのものがどれだけ面白くても、応募要項を守らないと落選になってしまうので、参加する高校生の皆様は再度入念にチェックしておきましょう。

【重要・カクヨム甲子園応募者の皆様へ】

<https://kakuyomu.jp/info/entry/2017/07/31/180000>

<応募可能なのは現役の高校生のみ！>

このコンテストで募集しているのは、「高校生をテーマにした作品」ではなく、「現役の高校生が書いた作品」です。

高校生じゃない人間にはそもそも参加資格がありません。

<文字数制限に注意！>

- ・ショートストーリー部門 4,000 字以下
- ・ロングストーリー部門 8,000 字～20,000 字

期間内にこの文字数に収めた上で、作品を完結させる必要があります。

文字数の不足や超過、未完結の作品は選考対象外になってしまいます。

高校生かどうかは本人確認するので、「年齢ごまかして仮面参加しちゃうw」とか、そういう悪だくみはできない模様。

いずれにせよ、せっかくの作品が規定違反で落選したら、悲しいですね。

明るく楽しい投稿生活を送るためにも、応募要項はよく読んで、ルールを守って参加したいところです。